

# A-1 学校研究

## 研究の構想

### 学校教育目標

確かな学力と豊かな心を持ち、たくましく生きる力を育む  
— 社会と連携し社会に貢献する押水中学校 —

### 本校の実態

#### 学習に関して

- ・ 基礎的な知識・理解の通過率が高い。
- ・ 情報を読み取る力はついてきた。
- ・ 自主的に学習に取り組む姿勢が乏しい。
- ・ 必要な情報をもとに条件に合わせて論述する力が十分でない。

#### 生活面に関して

- ・ 正しい挨拶ができる。
- ・ 善悪について正しい判断と行動ができる生徒が多い。
- ・ 指示があると行動できるが、自分で考えて行動する力が弱い。
- ・ 学習に対する意欲の2極化がみられる。

### 目指す生徒像

- ・ 確かな学力を身につけ、学び合う生徒
- ・ 命を大切にし、進んで体を鍛えるたくましい生徒
- ・ 思いやりの心を持ち、協力奉仕ができる心豊かな生徒
- ・ 集団の向上を目指し、規則を守る礼儀正しい生徒
- ・ 日本の文化を愛し、郷土を大切にする生徒

### 研究主題

基礎・基本を確かに身に付け、自ら学び、自ら考える生徒の育成  
— 身に付けた知識や技能を活用できる生徒の育成 —  
『各教科における思考の深化や変容を導くための工夫に重点をおいて』

### 研究の仮説

- 仮説1 授業でのねらいや課題を明確にし、思考を深める手だてを用意することで、主体的に学習に取り組むことができるであろう。
- 仮説2 学習環境を整え、学習規律を確立することで、授業に臨む姿勢の向上を図ることができるであろう。
- 仮説3 授業に結びつく確認問題を与え、家庭学習などを継続させ、確認・評価すれば、基礎的・基本的な内容が身に付くであろう。

仮説1

仮説2

仮説3

#### (1) 指導法の工夫・改善

- ① 授業の力点
- ② 指導体制の改善
- ③ 教材の開発
- ④ 指導と評価の一体化

#### (2) 学習環境の整備と 学習規律の確立

- ① 認め合い、高めあう  
学級・学年経営
- ② ライフスタイルの向上
- ③ 学習規律の維持

#### (3) 学びを支える場の設定

- ① 家庭学習の充実
- ② 授業以外の時間の活用
- ③ 家庭との連携
- ④ 地域との連携

押 中 ス タ ン ダ ー ド